
Technologies For Digital Risk

2021年2月期
第2四半期決算説明資料

2020年10月13日

会社名	株式会社エルテス	代表者	代表取締役 菅原 貴弘
所在地	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング 6階		
資本金	814百万円（2020年8月末時点）	従業員数	119名（2020年8月末時点・連結）

事業内容	リスク検知に特化したビッグデータ解析ソリューション
デジタルリスク事業	(株)エルテス、(株)エフエーアイ 主に月額課金のストックビジネス ・リスクモニタリング : 24時間365日体制でモニタリングし、リスクを早期検知 ・リスクコンサルティング : Webレピュテーションコンサルティング ・内部不正検知 : 企業PCログ等の解析によって、情報漏洩や労務リスクを検知
AIセキュリティ事業	(株)エルテスセキュリティインテリジェンス 警備事業とデータインテリジェンスを用いた警備のDX化
デジタルガバメント関連事業	(株)エルテス エストニアのCYBERNETICA社と連携したデータ連携プラットフォーム構築等
投資事業	(株)エルテスキャピタル（一部(株)エルテス） サービス連携できるプロダクト・ソリューションを有している企業や、未知の分野での知見を有し、当社グループのサービス開発に資する可能性の高い企業に投資

1. 2021年2月期 第2四半期決算概要

2. 2021年2月期 通期業績予想

3. 今後の取り組み

4. 参考：エルテスについて



**連結
売上高**

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言・外出自粛等による経済活動縮小の影響により、売上減少 (2020.2期2Q累計 942百万円 2021.2期2Q累計 902百万円 Δ 4%)
- ・ 通期業績予想に対して、概ね予定通りに進捗。

**連結
営業利益**

- ・ 売上減少及び一時的な先行投資等の影響により減益 (2020.2期2Q累計 140百万円 2021.2期2Q累計 Δ 148百万円)
- ・ 新規事業、マーケティング、人材採用などに積極的な先行投資を実施
- ・ 先行投資は一時的支出であり、通期業績は予想通りに着地見込み

**連結
最終利益**

- ・ 上記のほか、投資有価証券評価損の影響により減益 (2020.2期2Q累計 86百万円 2021.2期2Q累計 Δ 189百万円)
- ・ 通期業績は予想通りに着地見込み

- 新型コロナウイルスの影響による営業活動の縮小により、受注・契約数は前期比で減少。
- 他方、新型コロナウイルス関連の炎上リスクや、クラスター発生リスク、誹謗中傷問題など、**当社の新たな事業機会となる環境**も発生。そこで、新規事業の立上げ、マーケティング投資、人材採用の加速など、**将来に向けた先行投資を積極的に実施**。

単位：百万円

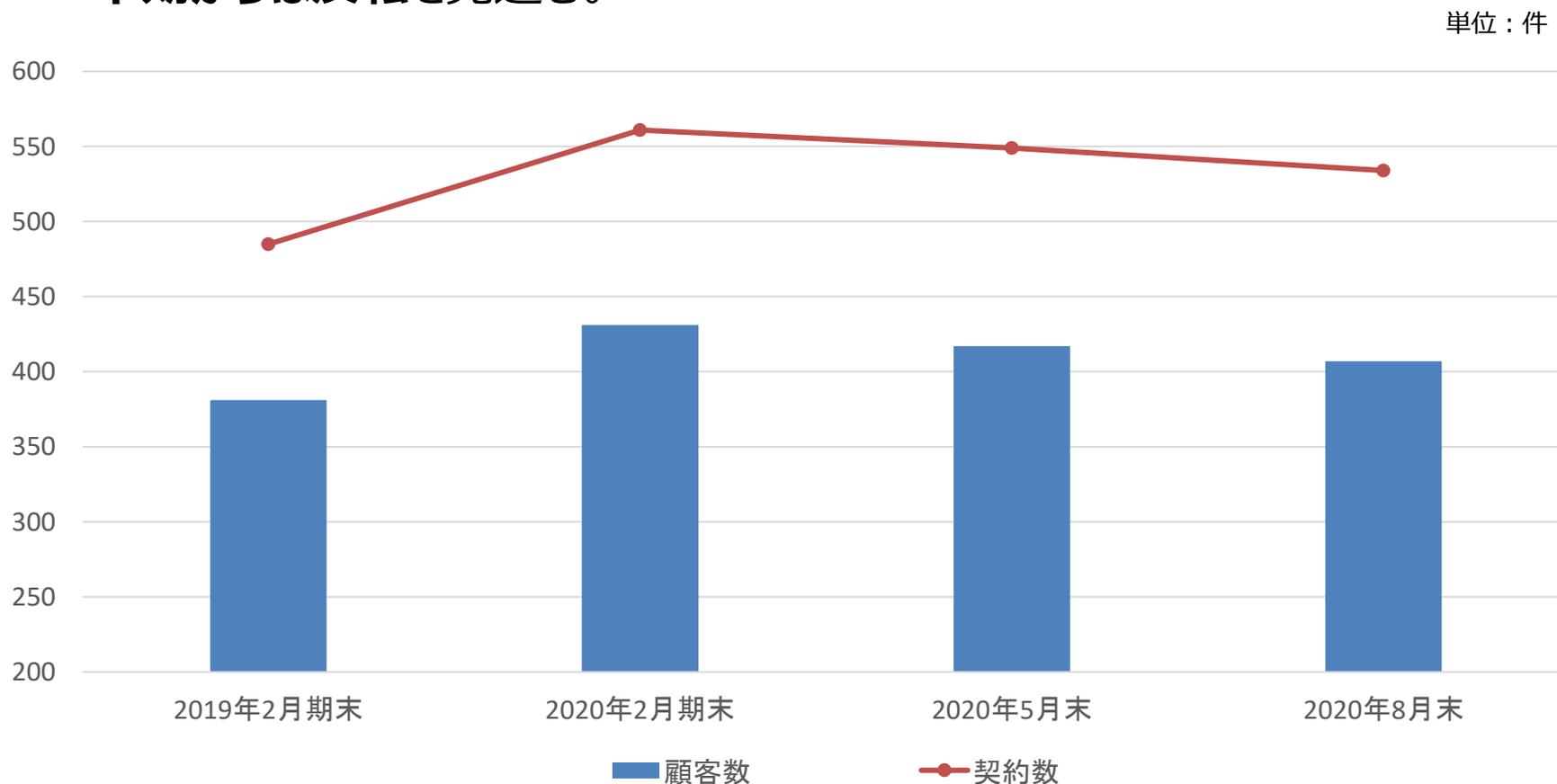
	2020年2月期 2Q連結実績	2021年2月期 2Q連結実績	増減額		2021年2月期 2Q連結業績予想	増減額
売上高	942	902	△39		900	+2
営業利益	140	△ 148	△289		△110	△39
経常利益	131	△ 157	△288		△120	△28
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	86	△ 189	△276		△160	△29

- 新型コロナウイルスの影響により契約数・顧客数が減少する中、新たなサービス（feve、モニタリオン、ネット中傷解決くんなど）の立ち上げ、マーケティング投資など、**新たな成長につながる投資を積極的に実施**。これらにより、前期比で営業利益は減益。

単位：百万円

		2020年2月期 2Q連結実績	2021年2月期 2Q連結実績	増減
デジタルリスク事業	売上高	910	855	△54
	営業利益	353	155	△198
その他	売上高	34	47	12
	営業利益	△18	△ 38	△19
全社・調整額	売上高	△2	△ 1	1
	営業利益	△194	△ 265	△71
連結	売上高	942	902	△39
	営業利益	140	△ 148	△289

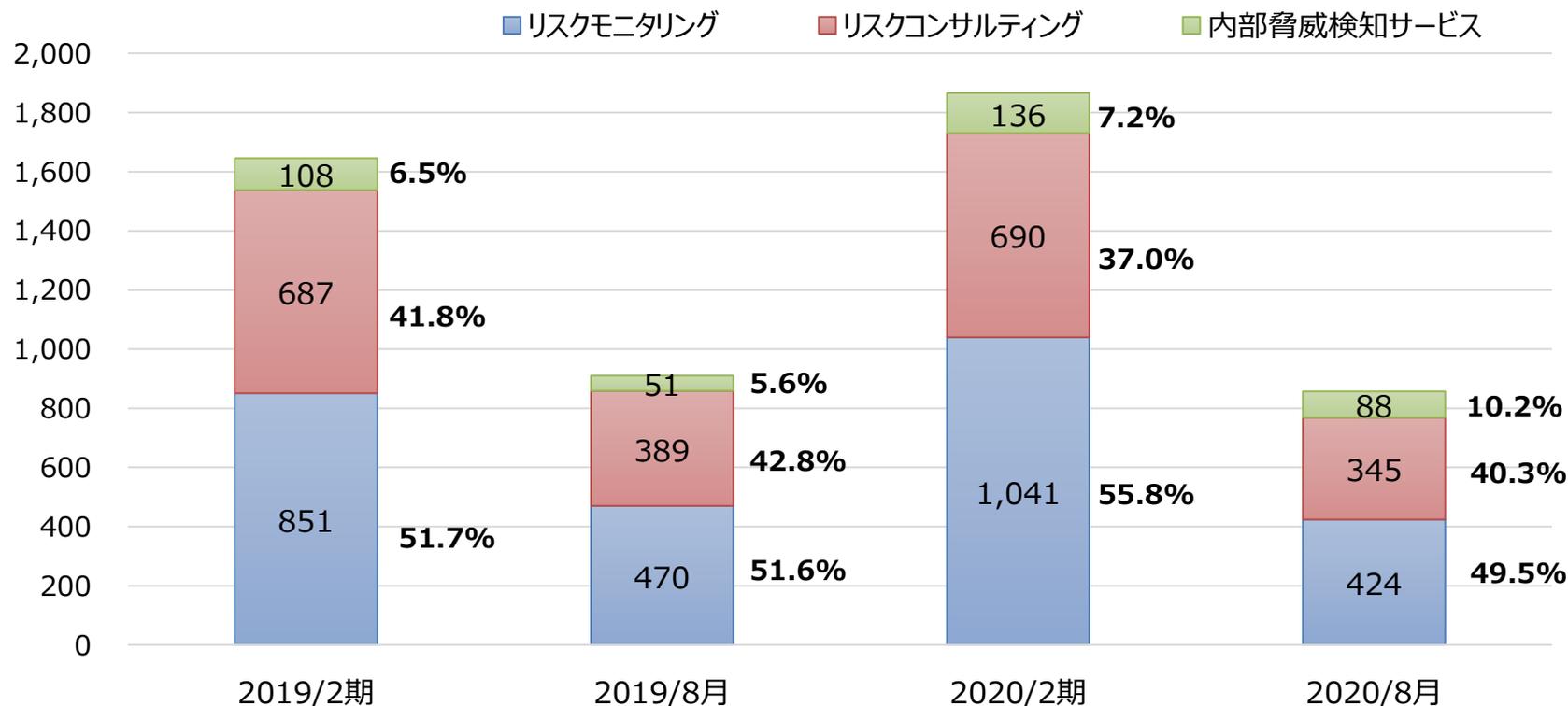
- ▶ 新型コロナウイルスによる影響を受けたクライアントからの契約の不更新が発生し、顧客数・契約数は減少。
- ▶ 他方、継続率維持施策により、**顧客数・契約数は下げ止まり傾向にあり、下期からは反転を見込む。**



- 新型コロナウイルスによる営業活動の自粛から、リスクモニタリング・リスクコンサルティングの売上高は減少。他方で、内部脅威検知サービスの売上は増加。

デジタルリスク事業 サービス別売上高推移

単位：百万円
%は売上構成比



➤ **流動資産**

現預金 1,083百万円（前期末比△239百万円）、売上債権 189百万円（前期末比△23百万円）

➤ **固定資産**

投資有価証券 218百万円（前期末比△16百万円）

➤ **負債**

未払法人税等減少（前期末比△54百万円）、流動負債その他減少（前期比△67百万円）

単位：百万円

	2020年2月期 連結実績	2021年2月期 2Q連結実績	増減
流動資産	1,578	1,348	△229
固定資産	483	497	13
負債	359	232	△127
純資産	1,703	1,614	△89
総資産	2,063	1,846	△216

- **営業キャッシュ・フロー**
税引前利益減少、法人税等支払額増加
- **投資キャッシュ・フロー**
投資有価証券の取得による支出微増
- **財務キャッシュ・フロー**
長期借入れによる収入減少、新株予約権の発行による収入増加

単位：百万円

	2020年2月期 2Q連結実績	2021年2月期 2Q連結実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	99	△ 229	△328
投資活動による キャッシュ・フロー	△6	△ 11	△4
財務活動による キャッシュ・フロー	20	1	△19
現金及び現金同等 物の期末残高	1,311	1,083	△227

1. 2021年2月期 第2四半期決算概要
- 2. 2021年2月期 通期業績予想**
3. 今後の取り組み
4. 補足：エルテスについて



◆ 新型コロナウイルスの影響考慮後の通期業績予想は、達成可能と見込んでいます。

売上高	・修正後公表予想に対して、概ね予定通りに進捗（進捗率 53%）
営業利益 経常利益 当期純利益	・修正後公表予想に対して、概ね予定通りに進捗 ・第2四半期の実績と予算の差異は、新たな事業機会を逃さないための先行投資分

単位：百万円

	通期			第2四半期進捗率	
	2020年2月期 連結実績	2021年2月期 連結予想	前年比	2021年2月期 2Q連結実績	進捗率
売上高	1,963	1,700	△13%	902	53%
営業利益	186	△ 350	—	△148	42%
経常利益	174	△ 370	—	△157	42%
当期純利益	86	△ 400	—	△189	47%

- 「その他事業」においては、**新たな収益の柱となるサービスの開発・伸長に注力**。
- 当期開始したサービスとしては、feve、ジチタイワークスHA×SH, ネット中傷解決くん等

単位：百万円

		2020年2月期 連結実績	2021年2月期 連結予想	増減	第2四半期進捗率	
					2021年2月期 第2四半期実績	進捗率
デジタル リスク事業	売上高	1,866	1,660	△206	855	52%
	営業利益	650	300	△350	155	52%
その他	売上高	102	50	△52	47	95%
	営業利益	△44	△ 150	△105	△ 38	25%
全社	売上高	△4	△ 10	△5	△ 1	11%
	営業利益	△418	△ 500	△81	△ 265	53%
連結	売上高	1,963	1,700	△263	902	53%
	営業利益	186	△ 350	△536	△ 148	42%

1. 2021年2月期 第2四半期決算概要
2. 2021年2月期 通期業績予想
- 3. 今後の取り組み**
4. 補足：エルテスについて



新型コロナウイルスの影響により、**減少した顧客数・契約数を短期間でリカバリー**。他方で、足もとの数字のみを追いかけるのではなく、当社のミッション達成のため**未来に向けた取組みも強化**。



デジタルリスク分野の第一人者となるため、5つの施策を実施。

1

継続率のさらなる向上

2

新規契約社数の増加

3

多様な領域でのリスク検知プロダクトの開発

4

データ活用力と組織運営力の向上

5

業界リーディングポジションを確立するためのマーケティング活動

常に発生しつづけるデジタルリスクの解消のために、クライアントとの**継続的な関係構築に向けた取り組みをより一層強化**。

【継続率向上に向けた施策例】

クライアントの
フォロー
体制の強化

既存プロダクト
の絶え間ない
アップデート

顧客ニーズに
合わせた
プライシング

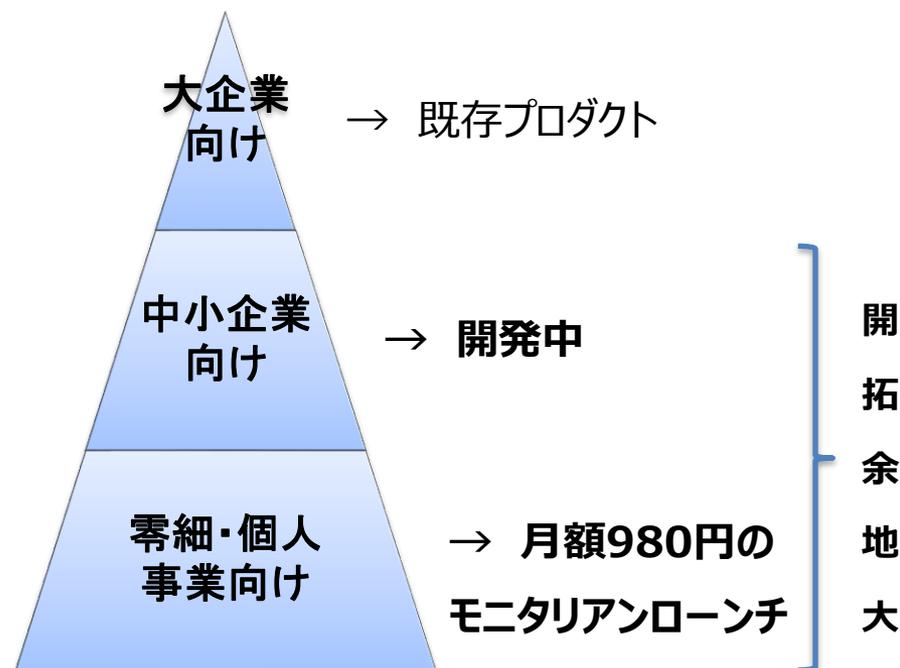
こうした施策はすでに実施中であり、一定の効果も発現している

既存製品の営業体制の強化に加え、新たな顧客層を獲得するための新規製品の開発の2つの軸で新規クライアントを増加。

営業体制の強化

- 顧客ニーズに応じた柔軟なプライシングなどの対応
- リード獲得マーケティング、インサイドセールスチームの組織力強化
- 代理店との協力による拡販体制の強化
 - 株式会社インテック、CTCシステムマネジメント株式会社と販売パートナー契約締結(2020年8月)

新規製品の開発



新しいデジタルリスクが発生しても検知できるソリューションをはじめとした多様な領域の商材を継続的に開発。

従業員感染リスク



サーモカメラを活用した発熱チェックと、ダッシュボード管理により感染リスクを統合管理

ジチタイワークス HA×SH



自治体と民間企業をつなぐプラットフォーム

低価格SNSモニタリング



月額980円で利用できるSNSモニタリングサービス

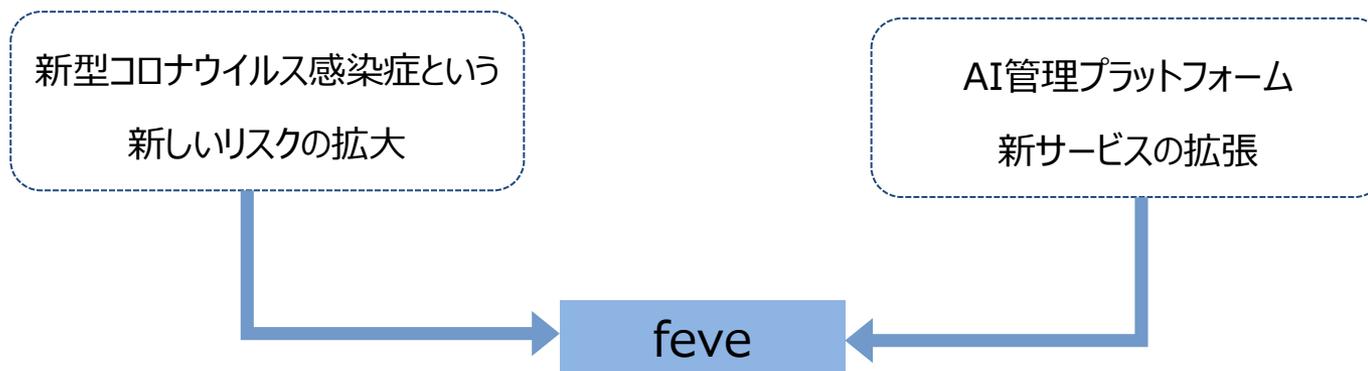
誹謗中傷

"ネット上の誹謗中傷" 開示請求の経験豊富な弁護士はこちら



誹謗中傷に関する相談を弁護士に相談できるプラットフォーム

<feve:ウィズコロナに対応した新サービス>



- 新型コロナウイルス感染症に対応する従業員感染リスク管理プラットフォーム
- 既存のAI管理プラットフォームを新しいリスク（新型コロナウイルス感染症）に対応するよう拡張

The image displays three sequential panels of the feve system's capabilities:

- 感染検知 (Infection Detection):** Includes 'サーモグラフィーカメラ' (Thermal camera) for detecting heat signatures and '警備員対応' (Staff response) for manual checks.
- 対応管理 (Response Management):** Features a 'ダッシュボード管理' (Dashboard management) for centralized employee management.
- 経路確認 (Route Confirmation):** Utilizes a '位置情報トラッキングツール' (Location information tracking tool) to monitor employee movements.

※上記の機能やサービスをお客様のニーズに合わせて取捨選択し、カスタマイズして提供

今後も新しいリスクの発生に対応して、新たなサービスを提供できる体制を構築

子会社を含めたグループ全体でのDX推進・業務プロセス進化とともに、組織力強化に向けた人材採用を加速化。

社内プロセスの進化

- ・ グループ全体で蓄積されたビッグデータをより活用する取組みを開始
- ・ テレワーク時代に向けた社内業務のプロセスを進化
- ・ グループ子会社を活用した効率化・コスト削減

組織力の強化

- ・ 営業組織、マーケティング組織の再編
- ・ 今後の成長に向けた経営人材採用
- ・ システム開発人材の採用強化

多様な業域の人材採用を幅広く強化することで、さらなる成長を加速化。

社長室長

【経歴】

大手コンサルティングファーム、PEファンド、大手上場企業役員、COOなどを歴任。

エルテスでは社長直下にて戦略推進業務、プロジェクトの横断的サポートを担当。

セールスエグゼクティブ

【経歴】

グローバルIT企業にて、グローバルテクノロジーサービス事業部長などを歴任。

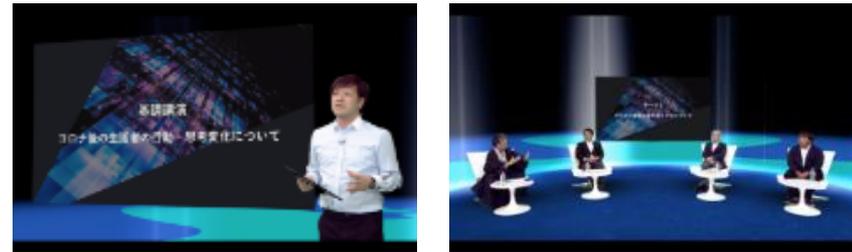
エルテスでは、営業力強化や新たなプロダクト開発を担当。

デジタルリスク分野の第一人者のポジションを確立するためのマーケティングを継続的に実施し、市場創造、営業機会の創出を実現。

日経新聞広告



デジタルリスクフォーラム2020の開催



平井卓也氏（現・デジタル改革大臣）や小説家・平野啓一郎氏などが登壇

寄附講座の実施



危機管理特殊講義2（デジタルリスク）を
日本大学 危機管理学部 学生を対象に実施

新型コロナによって発生した影響を短期間でリカバリーし
今期業績予想の必達を期すとともに、デジタルリスク分野での
リーディングカンパニーとなるべく取組みに邁進してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

1. 2021年2月期 第2四半期決算概要
2. 2021年2月期 通期業績予想
3. 今後の取り組み
- 4. 補足：エルテスについて**



デジタルリスクと戦い続ける

私たちが目指すのは、健全にテクノロジーが発展する豊かなデジタル社会を守り、デジタル社会にとってなくてはならない存在になることです。

インターネットの普及、デジタルデバイスの進化により利便性の向上と引き換えに様々なデジタルリスクが生まれています。

お客様や社会がまだ気づいていない、次々と現れるデジタルリスクと戦い続けていくことが、エルテスの価値であり役割です。

新種のリスクを常にキャッチアップして先手を打っていく、デジタルリスク領域でイノベーションを起こし続けていきます。

- ◆ 当社は、テクノロジーの進展によって発生する新たなデジタルリスクを解決するためのソリューションを開発し提供します。
- ◆ 情報通信インフラ技術とデジタルデバイスの発展に伴い普及した検索エンジン、SNS、オンラインバンキングなど、社会のデジタルトランスフォーメーションの過程において発生する“デジタルリスクマネジメント”を支援します。

デジタルリスクマネジメント

ソーシャルリスクマネジメント

インターナルリスクマネジメント



リスクモニタリング

24時間365日体制でクライアントの情報を収集しモニタリングすることでリスクの芽を早期検知します。また、検知だけでなく、これまでの専門会社としてのノウハウを基にした対応方法もアドバイスします。



レピュテーションマネジメント

検索エンジン上での一般ユーザーとのタッチポイントは企業のブランド体験に大きな影響を与えます。企業のブランディングやレピュテーション向上のためのコンサルティングサービスを提供します。



不正サイト検知

デジタル広告の仕組みを用い、不正に利益を得ているWebサイトは企業のブランド価値を大きく棄損するリスクがあります。それらのWebサイトを検出し、証拠保全を行うサービスを提供しています。



テロ対策支援

SNS上の情報収集を通じて凶悪犯罪につながる情報収集や、実際の犯罪予告等を早期に検知する取り組みを支援しています。



内部脅威検知

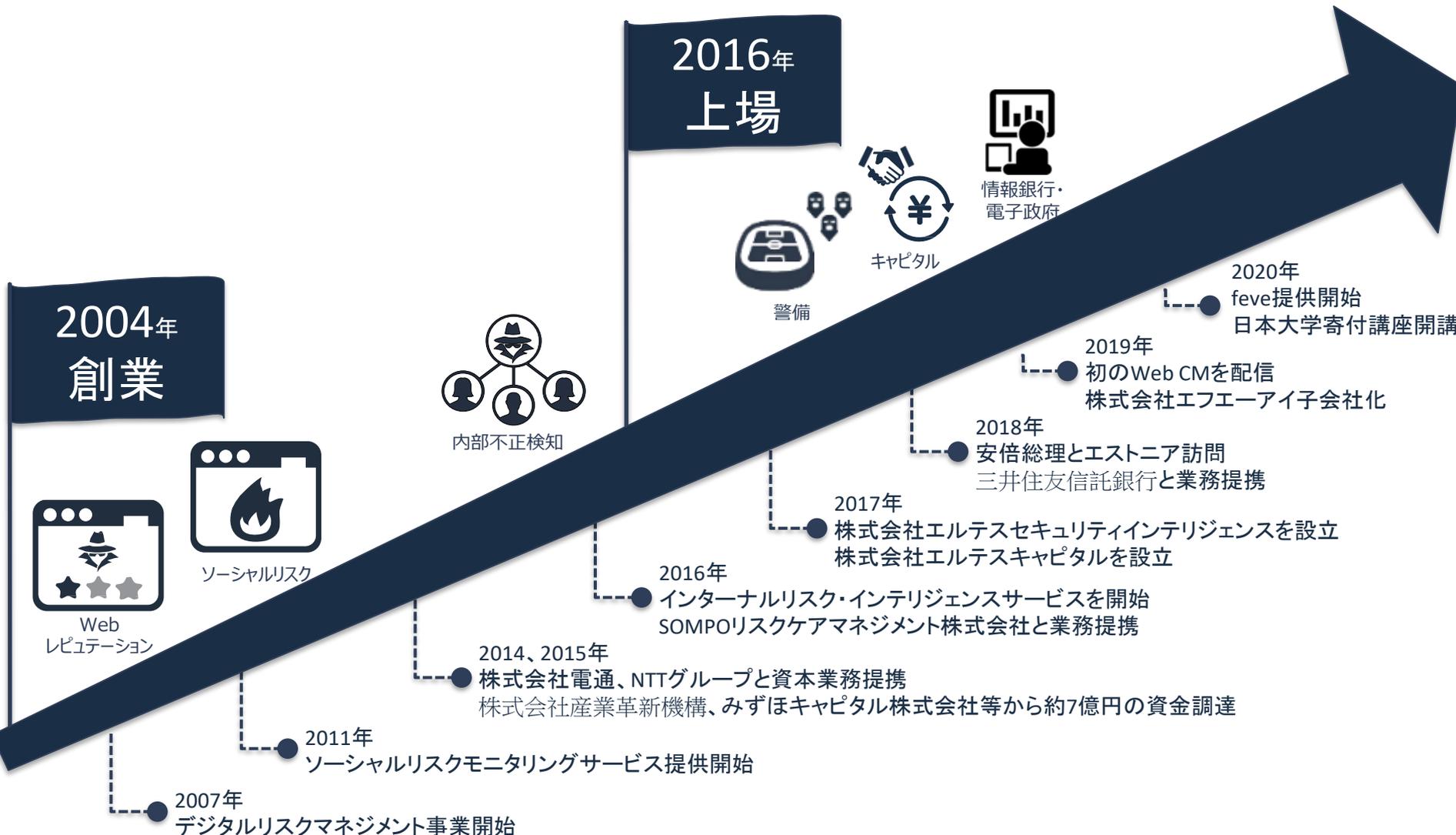
企業のPCログをはじめとした様々なログデータを収集し、正規化した上で統合解析することで情報漏洩や労務リスクの予兆を捉えます。



金融犯罪対策

口座間の送金ログやオンラインバンキングやATMのログイン情報などのビッグデータを解析することで、AMLをはじめとした金融犯罪対策を実現するために関係性可視化ツールを提供しています。

※ OSINT 【open-source Intelligence】の略語



4. エルテスについて | サービス導入実績（掲載許諾企業の一部）

- ◆ 現在、上場企業を中心に約400社にサービスを提供しています。
- ◆ また、これまでに1,000社以上にサービスを提供しています。



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

【お問合せ先】

株式会社エルテス IR担当 : ir@eltes.co.jp